

エビ養殖時の感染症発見キットを開発 株式会社エンバイオテック・ラボラトリーズ

開発の経緯

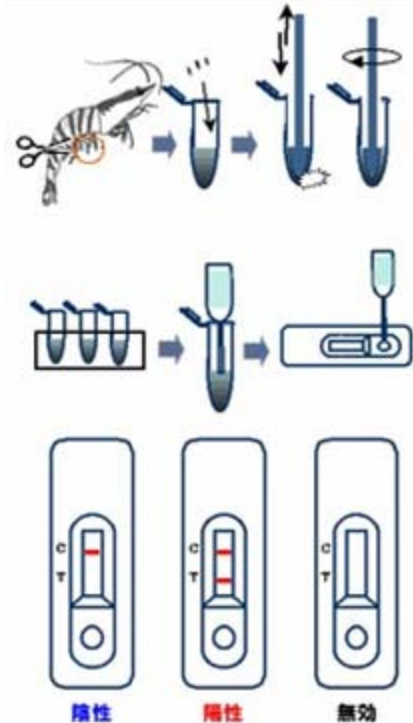
- エビ養殖における最も重要な管理業務の1つとして、疾病のコントロールが挙げられます。エビは、養殖時にホワイトスポットウィルスに感染すると、1週間で死滅することから、事業者にとって非常に大きなリスクとなっています。



製品の特長

<製品名:シュリンブル>

- エビの疾病を現場で簡易かつ早期に発見することができます。
- 検査には大きな装置を必要とせず、また、20分程度で検査結果がわかることから、養殖現場での疾病の早期発見を実現しました。
- 本製品は、エビ養殖のコスト管理手段として有効となります。



導入事例

- 本製品は、タイ、マレーシア、ベトナム、インド、中国などのアジア地域、メキシコ、エクアドルなどの中南米地域をターゲットとして展開しています。
- 養殖事業者にとって、ホワイトスポットウィルスは非常に脅威であることから、本製品に対するニーズは引き続き高いと想定されます。

会社情報

企業名:株式会社エンバイオテック・ラボラトリーズ

住所:東京都千代田区神田須田町2-3-16 千代田パリオビル6F

電話:03-5297-7155

資本金:3億5,122万5,000円

事業概要:環境診断事業、環境修復事業、創業基盤事業

代表者:水上春樹

URL:<http://www.enbiotec.co.jp/ja/>

設立:平成11年6月23日

従業員数:19名

SBIR補助金等概要

SBIR補助金等名:研究成果最適移転事業のうちプログラムB(独創モデル化)(平成14年度)

交付機関:独立行政法人科学技術振興機構(JST) <http://www.jst.go.jp/>

採択テーマ:免疫クロマトグラフィーによるエビのホワイトスポットウィルスの簡易検出方法の開発